

平成28年度 第1回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

開催日時 平成28年7月7日（木） 午後1時30分～
開催場所 鎌ヶ谷市役所庁舎5階 503会議室
出席委員 下津谷達男委員長、佐藤武雄副委員長、小川浩委員、金出ミチル委員
欠席委員 石神裕之委員
事務局 山崎生涯学習部長、笠井生涯学習部参事（事）次長（事）文化・スポーツ課長、三石主幹（事）文化係長、松丸主事、大竹主事補

傍聴者 なし

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 生涯学習部長あいさつ
- 4 議題

会議録署名人の選出について

会議録署名人に金出委員を指名（名簿順）

なお、会議録については、要旨記録とすることとする。

【報告事項】

- (1) 平成27年度文化財保護主要事業について
事務局より資料に沿って報告した。

[質疑]

委員長：千葉県による「出土品の取扱い基準の見直しについて」の資料が、添付されているが、これはどのようなものか。

事務局：従来、発掘調査による出土品はA～Dランクに区分されていたが、今回の見直しにより、A・B区分となり活用の可能性が見込まれるかどうか、区分の基準として大きな意味をもつようになった。

- (2) 平成28年度文化財保護主要事業について
事務局より資料に沿って説明した。

委員：国史跡下総小金中野牧跡（捕込）の追加指定地の面積はどの程度か。

事務局：331.69平方メートルである。

委員長：買上げにあたって、補助金の交付はあるのか。

事務局：国からは80パーセントの補助がある。千葉県についても補助がある。

- (3) 国史跡下総小金中野牧跡周知普及事業について
事務局より資料に沿って説明した。

[質疑]

委員：とっこめ桜まつりの人数が減っているが、なにか理由はあるのか。

事務局：今年は、開始時間から肌寒い曇天であったことや、桜の見頃と重ならないなど悪条件が重なったことが大きな要因と考えられる。

委員：参加人数増の方法として、開催日数を増やす必要もあるのではないか。

事務局：応援いただいている自治会員さんたちにも、自分たちが支えているお祭という自負をもっただいただいております、とても頼もしい状況である。しかし、年度初めということで各自治会の総会とも重なる時期でもあり、これ以上の協力を求めるのは厳しいところである。

委員：国史跡下総小金中野牧跡周知普及事業では名前が長いが、なにかわかりやすい愛称はないのか。

事務局：各事業に「とっこめ」とひらがな表記を加えることで、興味をもってもらえるよう工夫している。

(4) 国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業について

○「国史跡下総小金中野牧跡保存整備基本設計」(案)について

○パブリックコメントの実施について

○国史跡下総小金中野牧跡整備基本設計検討委員会について

事務局より資料に沿って説明した。

[質疑]

委員長：史跡の整備事業はどのように位置づけるのか。

事務局：市の実施計画に位置付けて、実施していく。

委員長：計画案の中に解説看板の設置があるが、季節や時間、材質により読みにくいものがあるので、文字数を含め、考慮してほしい。

事務局：承知した。

委員：土手の断面展示についてはどのように考えているのか。

事務局：土手の断面そのままの展示は施設の建設の必要もあり、維持・管理が非常に難しい。他の事例も参考に、レプリカ展示等あらゆる手法を検討したい。

(5) その他

○佐津間渋谷家の調査について以下の調査を行った。

屋根裏所在の江戸時代からのお札(ふだ)の調査

建造物調査

渋谷家調査を実施した小川委員、金出委員より、調査概要を報告いただいた。

6 閉会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成28年 8 月 2 日

署名人 金出 ミチル